

令和3年度事業計画

令和3年3月20日
わきはまこども園

1、こども園の運営

所在地 貝塚市脇浜3丁目31-8

定員(2号・3号) 90名(実数96名)

0歳児 3名 1歳児 18名 2歳児 17名

3歳児 21名 4歳児 18名 5歳児 19名

定員(1号) 10名(実数5名)

3歳児 3名 4歳児 0名 5歳児 2名

職員定数 24名

(委託給食の為調理員の数は含まない。)

園長を含め正規職員18名、管理栄養士1名(おおぞらとこども園と兼務)、
パート保育教諭4名、パート事務員1名の合計24名。

2、保育目標

- ・ あいさつができる子の育成
- ・ 思いやりのある子の育成

(1) 開園時間 午前7時～午後7時

基本保育時間(2号・3号) 午前9時～午後5時

午後6時～午後7時(保育標準時間認定者は延長保育料金徴収)

午後5時～午後7時(保育短時間認定者は延長保育料金徴収)

基本教育時間(1号) 午前9時～午後1時

午後1時～午後3時半(希望者は保育時間とする)

午後3時半～午後5時(延長保育料金徴収)

(2) 運営・教育・保育の内容

幼保連携型認定こども園としてスタートしてから4年目となり、益々充実した保育、教育に力を入れていきたい。増改修工事も昨年12月に終了し、4月1日より定員増となる。3号と2号に関しては80名から90名へ、1号に関しては9名から10名へ、合計89名定員から100名定員へと変更になる。新入園児に関しては、歳児により待機児童数にばらつきがあった為、スタート数は学年により園児数に差が出ることとなった。在園児については1号認定者が加えて新2号認定も希望するケースが増えてくると予想する。新2号認定を取得すると延長料金徴収額が一定額返還されるシステムだが、保護者の方と職員の負担のバランスを考えながら、長時間保育の料金を徴収しても1号認定として留まってもらうことに重きを置くか、2号認定に変更後、別の1号認定者を受け入れるか等、様々なパターンが考えられるが、ベターな方法を模索しながら様子を見ていく年度となる。障害児数は継続児2名と新入園児1名である。また、加配児童の在籍クラスが人数の少ないクラスとなる為、結果、保育教諭の配置は効率的とは言えないバランスとなったので、1年後の配置や途中入園に関しては中期的に考えながら決めていきたい。0歳児に関しては、6名まで、4歳児と5歳児の1号に関しては、積極的に途中入園を受け入れながら、年間通じて安定し、余裕のある運営、教育、保育を目指したい。

2021年度は、同法人のおおぞらこども園に一年間出向していた保育教諭1名がわきはまこども園での勤務に戻る。また4月1日付で、育児休暇あけの保育教諭1名が復帰する。また、今年度途中(6月末)から保育教諭1名が産前休暇に入る予定である。

全保育士が幼稚園教諭免許を取得しているので、職員配置のバリエーションが広がっている。幼稚園免許更新該当者は、今年度はいない。

実習生に関しては短期大学生の受入れを中心とすることにする。また夢体験事業として高校生を数日間受け入れ、将来の保育、教育従事者に対して様々な角度から力になる。

保育教諭のキャリアアップの為の処遇改善の加算はⅠ、Ⅱ共に2021年度も続

けられる見込みである。キャリアアップ研修は必要な時間数の講習を必要な人材が受講することが必須であるが、昨年度は、全世界的に、思いがけないコロナウィルスの感染拡大により、研修については殆ど進まず、その代わり園外の研修については、オンライン研修などの新たな研修形態も少しずつ表れてきた。当園ではそういった研修受講の環境は整っているので、2021年度に関しては積極的に、なるべく多くの職員が受講できるようにしていきたい。

2021年度も日本古来の文化や季節を感じる行事を大切にする。しかしながら密を避けたり、季節に拘わらず換気を徹底したり、ソーシャルディスタンスをとる等、徹底した感染症対策を講じた上での日常を心掛けたり、行事ごとを行うことを前提に、且つ健やかな子ども達の成長を阻害しない取り組みを行っていく。昔ながらの童謡・唱歌を歌ったり、お手玉・あやとり等の昔遊びを楽しんだり、もちつきやそうめん流しなど伝統的な行事を行う。デイリープログラムについては、園児の年齢に応じ保育教諭と園長が協議し定める。

2021年度も法人理念、園の方針に則ることを念頭におき、歳児別に年間テーマを設定した上で、子ども達の成長を一番に考慮した教育、保育を行い、年度末の研究保育発表につなげる。

【5歳児・・・あいさつ・気持ち】

【4歳児・・・やってみよう・やりたい気持ちを育てる】

【3歳児・・・物語遊び】

【2歳児・・・リズム遊び】

【1歳児・・・五感を感じよう】

2021年度については、年間通じて絵画や造形に関して単発的な制作にとどまるのではなく、子どもの好奇心や興味を上手く引き出し、年長児には絵画展へ年2回の出展を促し、意欲の育みにつなげる。また、新園舎内設備を上手く活用しながら、子ども達の作品の展示方法を工夫する。

運動についてはピロティや屋上、近隣の公園をフルに利用しながら、ドッジボールや縄跳び等が充分出来る工夫を考える。

2年前は、5月の最終週の土曜日に父母の会主催で行われていた『わきはまこども園まつり』だが、密となることが予想される為、春の平日2日間で、人

数を分散させた上で、園児が楽しめる遊びを父母の会役員と共に計画する。

貝塚いぶき作業所の方々といぶき祭りや陶芸体験等を通じて交流を持つことや、独居老人昼食会（いきいきランチの会）への参加等、世代間交流を図ることは2021年度も難しいかもしれない。

ただ、2020年度に実施出来なかった地元小学校との交流、連携は地域の様子を見ながら徐々に始めていきたい。以前は行っていた津波想定避難訓練を年1回でも実施し、いざという時の協力体制を作りたい。その為には、園と小学校の縦の連携を強める働きかけを行う。

オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業が推進され、社会福祉法人のあり方をめぐり業界でも議論されている中、社会貢献支援員と連携し園長を含めスマイルサポーターが今後具体的にどう活動していくかを模索、検討する。常々依頼を受ける事が多い生活困窮者レスキュー事業であるが、コロナの件により、以前にも増して困窮者の数は多くなり、深刻な案件も多くなっている事を重く受け止めなければならない。事業の体質としては、生計困難者に対して日常の生活必需品若しくはこれに要する金銭を与える、又は生活に関する相談に応じる事業として位置づけられるものである為、こども園の立場としては新境地を切り拓いていくような心境であり、戸惑いがあるが、本事業について特に大阪府下でも先駆的な役割を担っていることを自覚し、社会福祉法人のあるべき姿を常に意識する。

- ・ 月2回 3、4、5歳児体育指導 2時間（YTS スポーツクラブ所属指導員）
- ・ 月2回 4、5歳児英語指導 1時間（アメリカ人講師）
- ・ 年数回 4、5歳児習字指導 1時間（園副園長）
- ・ 月2回 5歳児珠算指導 1時間（脇浜町内珠算指導員）

- 職員名簿、園児名簿は別紙。
- 食育計画は別紙。
- 年間行事計画は別紙。
- 研修計画は別紙。

(3) 担当

担当保育教諭を定め、園長は総括的指揮をとる事とする。調理担当は別。担当は、クラス単位でも定めるが、専門リーダーを含む係りの割り振りを行い、クラス以外の担当も担うことで、全職員で運営していくこども園を意識する。

2名の主幹保育教諭は副園長から主幹としての仕事の委譲を受ける。また園長及び副園長の補佐を行う。

主幹保育教諭のうち1名は主に職員の指導、非常勤職員への滞りない連絡や給食会社との連携、園児や保護者全体の把握を元に取りまとめ等を行う。また実習生やボランティアの窓口となる。

主幹保育教諭のもう1名は、引き続き毎月定例の仕事、WEBに係わる仕事、書類作りを中心に園長の補助を行う。(園だよりやシフト表、各種書類作成)又引き続き各種マニュアルを現状に則った内容に見直す。

平成29年度途中より委託した、淀川食品株式会社での給食も軌道にのり、管理栄養士も園内(事務所と調理室と保育室)での連絡調整、姉妹園との連絡調整に更に力を入れる。令和3年4月～勤務時間が長くなる為、今までに出来なかった業務にも余裕をもって携わることが出来る。全てにバランス良く、離乳食も含めた栄養管理、アレルギー児も他園児と同じ給食を食べられる『なかよし給食』の充実、またはそれに付随する業務を行う。又、管理栄養士は、淀川食品株式会社の調理主任と連携をとり、多くの食材業者との連絡を更に密にし、入荷困難な材料の代替品に関して柔軟に提案を受け、バリエーションにとんだメニュー作りを心掛ける。

事務職員については、会計、経理関係を中心に、現在事務長が行っている実務の一部を遅滞なく行う。

体育は、例年通り YTS スポーツクラブに依頼し、年間通して指導を受ける。年度当初は特に、ウィズコロナ生活により落ちている体力向上に重きを置く。5歳児の年間計画に剣道を盛り込み、礼儀作法を中心に学ぶ。また指名した保育教諭1名が体操教室の補助に加え、別で体育に関しての年間カリキュラムを作成し、特に年長児に対して就学までに基礎体力の増進を図る為の指導をする。

英語は引き続きアメリカ人講師の M より指導を受ける。

珠算教室は4年目となり、町内の H 氏に引き続き指導を依頼する。

AEDの使用方法を皆が把握する。またAEDマップの定期的なチェックを行い、講習会にも参加する。また砂場、遊具等の安全管理等については業者の定期的なメンテナンスを再開している。更に、今迄通り環境整備担当職員が、年間通してチェックリストに基づき定期的に園内安全管理を行う。事故報告については園から子育て支援課への報告様式が統一化されているので、必要な際は提出を忘れない。

その他、学校医は貝塚市澤在住のクリニックのN医師。学校歯科医は貝塚市島中のI歯科医師。学校薬剤師は貝塚市中町のE薬剤師。

3、保育設備

園舎・・・前年度と同様美化に努める。増改修工事が終了し、美しい園舎を保つよう配慮し、持つ機能を有効に活用する。また新園舎での生活に慣れ、事故のないように気を付ける。

備品・・・償却品となった折補い、修繕出来るものは行なうこととする。工事により資金が相当かかった為、無駄は省くよう心掛ける。

- ・木製絵本棚の修理
- ・園児用コートハンガースタンド大4個購入
- ・園児用（ひよこ組とつばめ組）机と椅子の不足分購入
- ・園児用（ひよこ組）布団収納棚（補助金により）購入
- ・調理室前グリストラップの年1回定期点検。（7月頃）また調理器具や食器類の買い替えを必要に応じて行う。
- ・新たに設置したダムウエーターにつき年4回点検。
- ・高圧電力に切り替えた為、キュービクルの月1回点検。

4、資金の計画

- ・ 施設型給付費収入と補助金収入で円滑に進める。
- ・ 4月より園児の利用定員増となる為、少しの増収が見込まれる。
- ・ 増改修工事後、独立行政法人福祉医療機構への借入の返済が4月より始まる。（20年間）

5、その他

- ・急な地震や津波にも対処出来る様、重要書類を貸し金庫に保管する方法の検討や、2～3日分の食料備蓄分を小学校に保管を依頼する。
- ・2021年度もインターネット関連の業務の委託を行い、引き続き、財務諸表や計画報告類等を自園のホームページで情報公開する。

※新型コロナウイルス感染症による影響が2021年度も保育、教育の計画に及ぶことが予想されるが、園児の健全な発育を妨げないことを大前提に、休園や行事変更や中止の措置については地域の感染状況を見極めながら、且つ、貝塚市の方針に倣うこととする。

以上